

令和6年度教育現場における男女共同参画に関する推進状況調査 結果

1 目的

令和3年度に実施した市民意識調査において、男女共同参画のために取り組むべきこととして「学校における学習機会の充実」が意見として多く上がった。

そこで、第3次山鹿市男女共同参画計画において、学校における男女共同参画に関する学習機会の充実を施策の一つとして掲げ、各学校の取組状況を調査し、取組内容の発信を行い、市民への周知及び学習内容の更なる発展につなげていくことを目的に本調査を実施。

2 概要

調査時期 令和7年3月

調査対象 山鹿市内中学校5校

調査方法 各中学校へ調査依頼、メール及びFAXにて回答

調査内容 ①生徒会活動について（三役、各委員会の正副委員長の男女比）
②生活面について（各種当番活動での男女差）
③授業面について（各教科での男女差）
④あえて性差を作っている場面について
⑤生徒の意見について（生徒への聞き取り）

3 結果

① 生徒会活動について（三役、各委員会の正副委員長の男女比）

生徒会役員、各委員会の正副委員長の男女比はほとんどの中学校において均等になっているが、ある学校では正副委員長の女子生徒数が男子生徒数の倍以上あり、女子生徒の生徒会への参加率の高さがうかがえる。

② 生活面について（各種当番活動での男女差）

給食などの当番活動における男女差はほとんどない。掃除においてもトイレ掃除や更衣室掃除を除いて、性別によって分けられることはない。

③ 授業面について（各教科での男女差）

家庭科の調理実習や技術のものづくり、体育のボールゲームなどにおいては男女別ではなく男女一緒に授業に参加しており、男女協働が当たり前になっている。

④ あえて性差を作っている場面について

健康診断、身体測定、更衣室、スポーツテスト、部活動などは性別によって分けており、思春期であることの配慮は大切にしている。

⑤ 生徒の意見について（生徒への聞き取り）

男子の意見…

- ・行事の準備や荷物を運ぶときは男子という場面が多い
- ・男子の更衣室は密室ではない（主に教室で着替えている）

女子の意見…

- ・行事の準備や様々な活動の中で飾り付けや掲示物の装飾など、細かい作業は女子ということが多い

4 考察・今後の取り組み

日本は国会や県議会における議員数での男女差が大きく、世界的に見ても男女共同参画が進んでいない現状にあるが、今回の調査結果から教育現場では、基本的に性別による役割分担を行っておらず、生徒会や各種委員会等の正副委員長の男女比は均等になっており、男女平等に参画していることがわかる。また、当番活動や各教科においてもあえて性差が必要な部分を除いて男女平等に教育を行っていることがわかる。

しかし、生徒への聞き取りから、重い荷物を運ぶのは男子、細かい作業は女子のように固定的な性別役割分担意識や男子には更衣室がないなどの性差が現状もあることがわかる。

山鹿市として、今後も各学校でどのような授業を実施しているのか等の取り組み内容の発信や男女共同参画に関する啓発資料の提供を行うことで、市民への周知及び啓発、教育現場における男女共同参画の更なる発展につなげていく。